

防災メモ

火山観測

仙台火山監視・情報センターでは、火山活動を監視するため、各種の火山観測を行っています。

震動観測

地震計を利用して火山性地震や火山性微動の発生状況を観測します。火山性地震や火山性微動の発生状況（回数、規模）や、低周波地震などの特殊な地震の発生状況に注目することによって、火山活動の推移を知ることができます（回数グラフ）。また、複数の観測点データを利用して火山性地震の震源を求めたり、震源分布の変化からマグマの移動経路を推定できることもあります（震源分布図）。仙台火山監視・情報センターでは、吾妻山、安達太良山、磐梯山及び岩手山で震動観測を行っています。

遠望観測

通常時の噴気等の状態、噴火時の火山現象の変化を観測することを目的として、目視、体感または遠望観測装置（監視カメラ）を用いて行います。仙台火山監視・情報センターでは、吾妻山、安達太良山、磐梯山及び岩手山で遠望観測装置により遠望観測を実施しています。

地殻変動観測

水準測量、傾斜計、光波測距儀や人工衛星を利用した GPS 観測等でマグマなどの移動に伴う火山体の地殻変動を監視します。仙台火山監視・情報センターでは、吾妻山、安達太良山、磐梯山で GPS 観測を実施し、地殻変動を監視しています。

現地観測

表面現象を主とする各種の火山現象の変化を把握するために、火山体付近で行う観測で、平常時の火山の状態を把握するために行う定期的な観測と火山性異常が発生した場合に行う臨時観測があります。仙台火山監視・情報センターでは、吾妻山、安達太良山、磐梯山及び岩手山で年 2 回定期的な現地観測を実施しています。

上空からの観測

火山の噴火時や冬期間など通常の方法では入山できない場合に、航空機を利用して各種の火山現象の変化を把握するために行います。仙台火山監視・情報センターでは、東北地方整備局、自衛隊、自治体等の協力を得て、赤外熱映像写真の撮影等を行い、火山活動の監視に利用しています。